

草地博昭くさきひろあき

新市長に聞く



県内の現職首長で最年少となる39歳で市長に就任した草地博昭新市長に、取り組むべき課題やまちづくりへの思いなどを聞きました。

市長に就任された今のお気持ちをお聞かせください

市長の職は17万市民の生命と財産を守る仕事であり、重い責任を感じています。日々生まれてくる子どもたち、これから生まれてくる未来の市民のことも思いながら、責任を果たしていきたいです。

4年間の任期中に取り組みたい課題は

磐田市では現在、大きな「4つの変化」が課題であると考えています。「人口減少・少子高齢化による変化」「激甚化げきじんする災害や環境の変化」「デジタル化、テクノロジーの変化」そして「コロナ禍における社会の変化」です。

4つどれも等しく対応していかなければならないと考えていますが、まずは新型コロナウイルス感染症が1番大きな課題だと受け止めています。

まだ先が見えませんが、非常に難しいかじ取りが求められています。期待に応えていきたいと思っています。

コロナ禍では、いろいろな人から新しいことを学ぶ場が思うように作れません。そのような中でも、先進事例に学ぶことや、他の自治体との違いを比較しながら自分たちの弱点を埋めて強みを伸ばしていくことで、4つの変化に対応できると考えています。

これからどのような磐田市にしていきたいですか

「安心できるまち」、「人が集まる磐田市」を目指しています。次の時代も、安心できる暮らしが当たり前のように続く磐田市にしていくことが重要です。またその中で、若者たちが刺激を受け、新しいものを学びながら、人が集まってくる、にぎやかなまちにしていきたいと思っています。

磐田市で好きな場所は

いくつもありますが、古くからこの地を見つめてくれている磐田駅前の大クスの下は好きな場所です。その他にもヤマハスタジアムは市の象徴的な場所ですね。スタジアムも含めてジュビロ磐田がこの街にあることを誇りに思っています。

子育ての経験から学んだことは

今も6歳と3歳の2人の子育て中ですが、市議会議員時代は子どもたちと一緒にいろいろな施設や催しに行っていました。そこでは親目線、子ども目線で課題が見えたりアイデアが浮かんだり、いろいろな気づきがありました。子どもといることで学べるものがたくさんあります。子どもたちに感謝し、子育て世代、そして子どもたちに優しいまちにしていきたいです。

市民の皆さんへメッセージをお願いします

私は39歳で市長となり現在40歳です。下の世代にも上の世代にも近いことが武器だと思っています。フットワークの軽さを生かして、皆さんが身近に感じていただけるような「対話でのまちづくり」を進めていきたいと思っています。

市内くまなく、あちらこちらの現場に出て行きます。見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。対話から始めていきましょう。



プロフィール

草地博昭（くさち ひろあき）

生年月日（年齢）

昭和56年5月1日（40歳）

略歴

磐田市生まれ。

国立豊田工業高等専門学校を卒業。
NPO法人磐田市体育協会にて事務局長を務め、平成25年に磐田市議会議員に初当選。

以来、市議会議員を2期務め、その間、議会運営委員長、予算決算委員長、民生教育委員長を歴任。

住所

磐田市千手堂

趣味

歴史探案、スポーツ観戦

尊敬する人物

松下幸之助。電化製品で社会や人々の暮らしを改善しようとした姿勢に感銘を受ける。

座右の銘

「人に勝つより自分に勝て」

争うべきは他人ではなく自分である。柔道家・嘉納治五郎の言葉。

好きな色

サックスブルー（ジュビロ磐田のクラブカラー）